

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	こばんはうすくら 浜松江之島教室
------	------------------

公表日 2026年2月20日

利用児童数 21人 回収数 21

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	15	6	0	0	運動遊びなど体を使う遊びの時は狭いかな?と思いますが、それ以外は大丈夫だと思います。	パーテーションの利用、地域施設の利用、外出など上手く組み合わせながら活動内容を工夫していきます。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	16	2	1	2	保育園よりも多くの職員が関わってくれている。適切を感じる。帰りの送迎時、職員が1人必ず残ってくれるといいと思う。	日中の活動時は適切数の配置をしています。帰りの保護者送迎の対応も、ていねいな対応ができるよう努めています。
	3	生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	19	2	0	0	色々な見出しがついていてわかりやすく、整理整頓されている。玩具など必要に応じて出すので気が散らなくていいと思う。	今後も子どもにわかりやすい環境づくりに努めます。室内設備についても安全に過ごせるようチェックし必要に応じて検討していきます。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	21	0	0	0	いつもきれいで掃除されて清潔な環境だと思います。	今後も毎日の掃除、消毒を行い、子どもたちが過ごしやすい空間になるように
適切な支援の提供	5	子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	19	1	0	1	常に子どもの状態を確認し、保護者へのフォローも適切でとても安心しています。質問にも専門性を持って丁寧にお答えいただけています。	保護者とも情報共有し、子どもの様子を理解し、状況に合わせた支援が出来るようチームで連携していきます。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	19	1	0	1	合っていると思います。計画的に支援、指導をいたいでいると思います。	様々な子どもに応じた支援が出来るように保護者とも連携しながら支援内容を共
	7	子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画(個別支援計画)が作成されていると思いますか。	16	1	0	4	家庭での生活面、幼稚園の様子、保護者の思いを聞いてそれを支援に入れてくれていると思います。	保護者のご意向、子どもの様子やご家庭、園での様子も踏まえ、きちんと状況を把握したうえで計画を作成していきます。
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	19	1	0	1	本人支援だけでなく、保護者の不安にも寄り添っていただき嬉しく思う。多方面への配慮が感じられる支援計画だと思う。	必要な支援が届くよう計画作成し、保護者への説明をていねいにわかりやすく行っています。
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	21	0	0	0	子どもの特性や苦手に沿って支援していただいていると思う。子どもの成長を感じる。	それぞれに合った個別支援計画を作成し、支援に携わる職員が目標を理解した上で支援していきます。
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	18	0	0	3	今の子どもにとって必要なことを取り入れて頂いている。幼稚園で指摘された課題も支援や活動内容に組み込んでいただいている。	季節の行事なども取り入れながら、様々な経験が出来るようにプログラムを考えています。
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他の子どもと活動する機会がありますか。	8	2	7	4	他の子どもと活動する機会はなかったと思いますが、交流センターで地域の方や高齢者とは触れ合う機会があったと思います。	来年度、地域の子どもとも交流する機会を持てるよう検討していきます。
保護者への説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	21	0	0	0	様々な説明を丁寧にしてくださいました。	保護者への説明は今後もていねいに行い、疑問や質問にもわかりやすく、迅速に対応します。
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	20	0	0	1	定期的に計画の見直しがあり、都度具体的に説明をいただいている。	計画内容を理解し、同意をいただけるよう計画を見ながらわかりやすい説明をしていきます。
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレン特訓等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	19	1	0	1	保護者が参加できる研修会やイベントの案内をいただいている。案内をされた方が参加したことはありません。	今後も研修案内を発信し、保護者が参加したくなる内容を検討していきます。
	15	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	20	0	0	1	小さなことで伝えやすい雰囲気があり、不安や子どもの成長などを共有させてもらっている。先生とお話しする時間をたくさん取ってくれている。	話しやすい雰囲気作りに努め、送迎時など会いできる時間に有効活用しありに共通理解をしていきます。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	19	2	0	0	面談も行われていて、こちらからの質問にも助言をしていただいている。気軽に相談させてもらっている。	面談以外でも送迎時、お電話等で対応していきます。ご相談には迅速に対応していきます。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	18	2	0	1	保護者の気持ちに寄り添った支援だと感じています。母の健康状態にも気を遣っていました。	お子さんだけでなく、保護者や家族支援も積極的に取り組んでいます。お会いできない保護者にも配慮していきます。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	17	2	0	2	保護者の交流会を企画していただき参加しました。今年は保護者参加のイベントがたくさんあって良かったと思う。	保護者のニーズを把握し、それに応えられるよう情報把握を行います。保護者参加のイベントを今後も工夫して行っていきたいです。
	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	17	2	0	2	丁寧に相談に乗ってくれていると思います。速やかに対応していただいている。	申し出のあった場合は迅速な対応を心掛けていますが、今後は困りごとや相談事をいつでも受け入れていることを保護者に定期的にお知らせし、周知していきたいです。
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	18	3	0	0	日頃から先生方とたくさんコミュニケーションを取りさせてもらっている。利用当初利用日についての説明が不十分で不安を覚えたことがあります。	利用が軌道に乗るまでの保護者の不安を取り除けるようないねいな対応を心掛けている。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	14	3	1	3	活動内容のお手紙は写真付きで楽しみに拝見しています。自己評価表はあるのかもしれませんのが見つかりませんが見つかりませんが見つかりません。	保護者に発信するべき情報の伝え方、周知の確認をどうとしていくのか検討し、改善していきます。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	20	0	0	1	個人情報に関することは保護者の許可を得てくれています。個人情報に配慮されています。	鍵付きのロッカーで子どもの情報の入ったファイルを保管しています。今後も個人情報の取扱いに十分気をつけていきます。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	14	0	0	7	マニュアルについては説明していただいているかもしれませんのがわからんません。訓練は頻回に行っていると思います。	各マニュアルについての保護者への周知・説明の方法を検討していきます。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	21	0	0	0	定期的に避難訓練をして頂き感謝です。子どもも避難の仕方などしっかり理解していま LINEで連絡が来ます。	定期的な避難訓練を行い、検証してより安全にお子さまを守れる方法を検討し訓練していきます。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	19	0	0	2	安全を確保するための計画がわからぬ。たぶん問題ないです。	子どもの安全を最優先に考え、活動を考えていく必要があります。安全計画の周知徹底に努めます。
	26	事故等(怪我等を含む。)が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	15	1	0	5	何かあればお電話をいただいている。熱が出た時はすぐに連絡をてくれる。直接ではなく、園から聞いたことがあった気がする。	その日のうちに関係するご家族に連絡します。園送迎の保護者にも必ず事業所から連絡することを徹底していきます。
	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	20	0	0	1	先生方を信頼して笑顔で行っていると思う。安心して通所していると思う。	子どもたちが安心して通えるよう環境づくり、関係づくりを行っています。

満足度	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	15	4	1	1	前日に「明日こばんに行く」と楽しみにしています。行けば楽しんでいるようですが、朝は休みたがります。	子どもたちが楽しんで参加できる活動内容を考え、職員も楽しめる関係作りをていきます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	20	1	0	0	子どもも少しずつ成長し、感謝しています。満足しています。言語指導なども取り入れて頂けたら助かります。	これからも満足していただけるような支援が出来るように努めています。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	こばんはうすさくら 浜松江之島教室
------	-------------------

公表日 2026年2月20日

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	4	1	狭い環境の中でも活動内容によって物の配置を変えたりパーテーションを使ってスペースを確保している。	限られた空間で怪我のないように活動を工夫していく。散歩や公園、公共施設を利用するなどの活動を取り入れていく。
	2 利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5	0	児発・放ディの職員が協力し合い、人数や活動内容に応じて職員を配置している。	今後も手厚い支援ができるよう、児発・放ディ職員と連携しながら、全職員が子どもの様子を把握し協力をしていく。
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4	1	イラストや写真、文字を貼って目で見てわかるようにしている。	2階に行く手段が階段しかないが、階段の上り下りの練習を行う等、緊急時でも対応できるようにしていく。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	5	0	毎日の掃除と消毒を徹底している。子どもの手の届くところへは物を置かないように配慮している。	空気清浄機やエアコンフィルターなど、定期的な掃除が必要な場所は、実施する日にちを設定し必ず取り組めるようにしていく。
	5 必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	4	1	個別の部屋は無いが、パーテーションを使って個別の空間を作っている。	部屋が限られているため、どのように個別の部屋として使用できるのか検討していく。
業務改善	6 業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	5	0	終礼時に職員間での振り返りをしている。参加できない職員は日報の記載を次の日に確認し周知している。	勤務の関係上、全職員で話し合いが出来ない日もあるため、事前に意見を集めたり、日報に記入したりし、全員に周知していく。
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	0	評価表には全職員目を通し確認している。改善点についてはすぐに検討し実施するようにしている。	保護者から頂いた意見を職員で把握し、改善点についてはすぐに検討をし実施するようにしていく。
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	0	日頃からコミュニケーションを取り、思ったことを言える関係づくり環境づくりをしている。終礼での検討、周知をしている。	職員間で話し合いの場を設けたり、勤務の関係上、全員で話し合いが出来ない場合は、事前に意見を集めて検討、実施していくようにしていく。
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0	5	第三者による外部評価は現在行っていない。	今後検討していく。
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内などで研修を開催する機会が確保されているか。	5	0	事務所に研修案内を貼ってあり、いつでも誰でも参加できるようになっている。オンライン研修も実施し、毎月研修を受ける時間を確保している。	必要な研修が受けられるように、毎月時間を確保して取り組んでいく。
適切な支援の提供	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5	0	年度のはじめに公表している。	毎年、年度はじめに公表できるようにしていく。
	12 個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	5	0	保護者の意向や子どもの様子を把握したうえで計画を作成している。職員間の話し合いの場も設けている。	職員間での話し合いの時間の確保が難しい。時間の使い方を検討していく。
	13 児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5	0	1人の職員が考えるのではなく、全体で話し合い子どもの支援について話す機会が多くある。	話し合う時間が限られているが、事前に意見を抽出したり、事前に対象児童を告知して考えをまとめられるようにしておく。
	14 児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5	0	職員間で共有され、目標を個別記録表に記載することによりいつでも確認でき計画に沿った支援、振り返りを行っている。	計画内容を周知し、計画に沿って子どもが楽しめる内容を工夫したり充実させていく。
	15 子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4	1	こばんのアセスメントツールを使用して、子どもの様子を確認している。個別記録表を見返したりしながら情報をアップデートしている。	職員全員がこばんのアセスメントツールを理解し、正しく使っていくようにしていく。
	16 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5	0	その子に必要な支援項目を計画に設定し、支援内容もスマートスティップで保護者にわかりやすく記載している。	子どもの特性や状態に合った計画になっているか、職員で検討、作成していく。今後もわかりやすい計画作成を心掛けていく。
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5	0	1か月の予定表を作り曜日に偏りが出ないように満遍なく子どもたちが活動に参加出来るようにしている。活動内容、目的を事前に確認している。	職員間で話し合い、偏りのない活動内容を目指していく。また、事前に目的を共有して実施していく。
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5	0	避難訓練やリトミック、外活動、季節の行事など取り入れながら同じ活動が続かないように考えている。活動表の作成で固定化しないように立案している。	活動内容が固定化されないように、新しいプログラムも考え、取り入れていきたい。
	19 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	5	0	朝学の時間を使って個別支援を行い、日中は集団活動を行っている。どちらも踏まえた個別支援計画を立てている。	子どもの特性を理解し、子どもに合わせて、個別活動、集団活動を上手く活用にしていく。
	20 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5	0	その日の活動は前日の終礼、当日の朝礼で確認して共有している。	事前に活動内容は確認し、わからないことはその場で確認して、チームで連携して支援を行っていく。

	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5	0	毎日必ず終礼を行い、1日の子どもの様子の共有、支援の見直しについて振り返りを行っている。	勤務の関係上、終礼に参加出来ない職員は、事前に個別記録表の記入をしたり、職員間で情報を共有してりして、確認するようしていく。
	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5	0	日々の支援の記録はその日のうちに日報と個別記録表に記載している。	気になったことは、報告し周知するようにしていく。また、支援方法も検討し、必要なところは改善をしていく。
	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5	0	実際に支援してみて、子どもの姿から計画が簡単すぎたり、難しかったりしていないか確認している。	今後も定期的なモニタリングを行い、必要に応じて計画の見直しを行っていく。
	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5	0	施設長、児発管が参加し情報共有している。その後、他職員にも情報共有している。	情報は職員間で共有し、日々の支援に活かしていくようにしていく。
	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5	0	相談支援事業所、園などと情報共有し、必要に応じてサービス担当者会議を行い支援についても検討している。	関係機関と連携がとれるように関係づくりをし、子どもの環境や様子、状態をしっかりと把握していく。
	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5	0	ご家庭の意向や本人の様子を踏まえて、保護者と話す機会を設けている。園の様子も共有しながら無理のない移行に繋げられるように心掛けている。	相互の環境設定を確認することで、支援内容の相違部分を埋めたり、共通した支援に向けてすり合わせを行っていく。
	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5	0	サポートかけはしシートを作成し、担当者が学校側と情報共有をしている。	必要に応じて連携を取り合い、切れ目がない支援が継続できるように努めていく。
関係機関や保護者との連携	(28~30は、センターのみ回答)				
	地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	(31は、事業所のみ回答)				
	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	2	3	困りごとは関係機関と共有し、相談している。	今後も関係機関と連携しながら対応し、相談、助言を頂ける機会を積極的に設けていくたい。
	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	0	5	こども園、幼稚園等との交流は無いが、系列の別の教室の子どもたちとの交流を行っている。	公園などの外出先で、地域の子どもと同じ空間で遊ぶこともあるため、必要に応じて交流の場を設ける機会を検討していきたい。
	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5	0	送迎時や連絡ノートにてご家庭での様子を伺ったり、こばんでの様子もお伝えし、共通理解をしている。	保護者の方に合わせた丁寧な伝え方が出来るように努めていきたい。必要に応じて電話連絡や面談など迅速に対応していく。
	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4	1	保護者向けの講演会の案内など行っている。また個にあった声掛けや環境づくりの提案などは適宜行っている。	保護者支援の観点からも今後検討していく。
	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5	0	見学、契約時に丁寧に説明している。	わかりやすく丁寧な説明を心掛け、質問があった際にはその都度対応していく。
保護者への説明等	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	4	1	送迎時、連絡ノートでの日々の情報共有や、面談を実施して保護者の意向も確認している。	子ども、保護者の意向をきちんと聞き取る機会を増やしていきたい。どちらの意向も尊重しながら計画の作成、支援に当たっていく。
	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	5	0	対面で丁寧に説明を行い、同意を得て支援を実施している。	今後も、丁寧にわかりやすい説明を心掛けていく。
	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5	0	必要に応じて面談を実施し助言を行っている。子どもの様子をモニターで見てもらしながら様子と一緒に把握し支援の様子を共有している。	日頃から悩み事、困り事を伝えやすい声かけや雰囲気作りを心掛け、迅速な対応をしていく。
	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	5	0	保護者参加のイベントを開催したり、保護者だけで交流するおしゃべり会の開催を行っている。	イベント回数や実施する時期、参加方法など考慮し、今後も力を入れて取り組みたい。
	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5	0	相談申し込みには直ぐに対応し、見学や面談にも迅速に対応している。	出来る限り迅速な対応をしていく。
	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	4	1	子どもの様子が伝わるように、写真入りで定期的にお便りを出している。	保護者の方に子どもの様子が伝わりやすいように、今後も定期的にお便りを配布し、必要なところは改善していく。またSNSの活用も検討していく。

	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5	0	鍵付きのロッカーに保管し、破棄する場合もシュレッダーを使用し情報が外部に漏れないようになっている。	保管の仕方は徹底し、情報漏洩に気付けていく。
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5	0	視覚ツールの使用や必要に応じて個別に対応している。	一人ひとりに合わせた意思疎通のツールを活用し、丁寧な対応をしていく。
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	4	1	事業所の行事への参加は無かったが、ふれあい交流センターの利用で高齢者や地域の方と交流する機会はあった。	今後も地域との交流する機会を増やしていくように、検討していく。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5	0	各種マニュアルは作成し、いつでも誰でも手に取れる場所に設置してある。	定期的に訓練を行い、どんな状況でも職員が対応できるようにしていく。保護者の方にも周知出来るように発信ツールも検討していく。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5	0	BCPを策定し、定期的に訓練を実施している。毎月活動の中に訓練を取り入れている。	今後も訓練の中で職員の動きを確認し、どの職員でも対応できるようにしていく。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	5	0	契約時に確認し、健康調査票の記入もお願いしている。	職員全員が確認できる場所に健康調査票を保管し、変更があった際には終礼などで共有するようにしていく。
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	3	2	契約時に確認し、保護者の申し出に従って対応している。	間違いないように職員間で共有し、ダブルチェックを行いながら対応出来るようにしていく。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5	0	安全計画を見えるところに掲示し、計画に沿って研修、訓練を行っている。避難経路を各部屋に掲示している。	今後も研修の受講や訓練を通して、安心、安全に過ごせるように緊急時の対応が出来るようにしていく。
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5	0	お便りで安全計画の取り組みの内容を保護者にも周知している。	緊急時に保護者との連携がスムーズに取り組めるように対応していきたい。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5	0	ヒヤリハットはその日のうちに共有し職員間での検討をしている。記録を必ず残し、定期的に振り返っている。	終礼時にヒヤリハットの確認をし忘れずに記入し、対策をすぐに考えて対応していく。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5	0	全職員が研修を受けている。年に数回アンケートを実施し支援を振り返る機会を設けている。セルフチェックも行っている。	マニュアルの確認、研修受講など職員の知識向上にも努め、適切な対応を心掛けていきたい。
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	5	0	対象児のご家庭には丁寧に説明し、同意を得て支援計画に記載するようにしている。	身体拘束をしなくてもいいように、前段階での支援方法を検討し、職員で共有して対応できるようにしていく。